



報告

新潟大学におけるIRUD取り組みの現状

長崎 啓祐先生
(新潟大学小児科講師)

特別
講演

未診断疾患イニシアチブ (IRUD) について

松原 洋一先生
(国立成育医療研究センター・研究所長)

3.25 2016年
金 18:00

| 会場 | 新潟大学医学部第1講義室
| 参加費 | 無 料

お問い合わせ / 〒951-8520 新潟市中央区旭町通1-754
新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター
tel.025-227-2022

遺伝子診療セミナー 未診断疾患 イニシアチブについて

(IRUD; Initiative on Rare and Undiagnosed Diseases)

いま世界各国で稀少遺伝性疾患研究が加速しています。マイクロアレイや次世代シーケンサーの臨床への導入で、これまで未解明だった遺伝性疾患の研究が進み、さらには家族性腎性糖尿病の研究から糖尿病の新薬SGLT2阻害薬が生まれるなどcommon diseaseの診療にも影響が及んでいます。こうした流れの中で、日本医療研究開発機構 (AMED) の事業として始まったIRUDは、稀少・未診断疾患患者に対して、医師会とも連携して全国にクリニカルセンターを置いて、コンソーシアムを形成し、次世代シーケンサーを用いた診断連携を行うものです。本年度から開始されたこの計画のまとめ役の松原洋一先生と、新潟のIRUD実務を担当される長崎啓祐先生に、ご講演いただけることになりました。小児領域が本年度から開始され、さらに成人領域に広がる予定のこのプログラムについての詳しいお話を伺います。



一緒に考えましょう、遺伝のこと

遺伝の問題は、一部の限られた人の問題ではなく、
誰にでも起こりうる身近なものです。

